厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区　Atsugi Rotary Club Weekly

会長　柳田純昭
副会長　山口巌雄
幹事　黒柳告芳
副幹事　西迫哲
会報・IT　髙橋宏

地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011　国際ロータリー会長　レイ・クリンギンスミス

例会場　厚木商工会議所5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2432回例会（8月31日）☆司会　小林　透　副SAA

点鐘　…柳田純昭 会長

斉唱　…手に手つないで

ビジター紹介

秋森三男氏（相模原西RC）

会長報告

◎ガバナー事務所より
・麻薬撲滅キャンペーン啓蒙資材手配について

幹事報告

◎例会変更
＊海老名ＲＣ
・夜間例会
日時：９月６日（月）19時　点鐘
場所：オークラフロンティアホテル海老名

◎週報
1. 厚木中ＲＣ
2. 厚木県央ＲＣ
3. 秦野ＲＣ
4. 伊勢原ＲＣ
5. 伊勢原平成ＲＣ
6. 伊勢原中央ＲＣ

スマイル

秋森三男様（相模原西RC）
厚木RCの皆様お世話になります。会員増強と会員維持は、どこのクラブでも共通した悩みだと思います。今日は宜しくお願いします。

柳田純昭会長・黒柳告芳幹事
秋森副委員長、熱い中ご苦労様でございます。本日卓話宜しくお願い致します。

三宅壯平君
秋森さん卓話よろしく御願いします。地区で大変お世話になっています。

柳田純昭会長・黒柳告芳幹事・山口巌雄副会長
会田親睦委員長、納涼親睦例会ご苦労様でした。お蔭様で参加した会員、ご家族の皆様大変楽しい時を過せました。また、それを支えご協力いただきました國方さん門田さんはじめとする皆様ありがとうございました。高橋先生写真撮影ご苦労様でした。

会田義明君
先週の夏の親睦例会お疲れ様でした。残暑とはいえまだまだ暑かったのですが無事に過ごすことができました。また門田会員からのスカイツリーバージョンのお茶とビールにつきましてのおはからい大変感謝しております。みなさんありがとうございました。

國方達央君
8月24日納涼親睦会には家内共々参加させていただきました。建設途中のスカイツリーや浅草演芸場での落語、夕食は今半のすき焼きと盛りだくさんの企画で、楽しませてもらいました。親睦委員長の会田さんお疲れ様でした。

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊誕生日
山本淳一君（９月14日）
＊夫人誕生日
黄金井一太君（糸子夫人９月13日）
＊結婚記念日
前迫静美君（９月９日）

今日の例会（９月７日）

「今後の税制改正の方向性」
担当：川上　肇君
講師：須長孝行様
（日興コーディアル証券厚木支店ソリューション企画部）

次回の例会（９月14日）

「新世代のための月間」
担当：常磐重雄君

西嶌洋一君
先週、入会記念と事業所開設のお祝いをいただきました。S45年8月15日に開業してから40年間たちました。健康で仕事ができる幸わせを感じております。

西迫　哲君
先日は浅草に参加出来ず申し訳ございませんでした。今半のおいしいお肉は味わうことができませんでしたが当日ロワジールホテルさんのお料理をたんのうさせていただきました。

川上　肇君・嶋田健一君
先週の納涼親睦例会ではアラフォーの川上、嶋田両名揃って遅れて到着し本当に申し訳ございませんでした。懐の大きな先輩達のおかげで、すき焼きも頂きました。週報にも素敵なスナップ写真も記念になりました。次回からは仲居さんに負けない働きをしようと誓い合った二人からにが笑いスマイルをします。秘かに遅刻した十亀さん。今度は先に行きますよ。

滝澤　勇君
会田親睦委員長、大変お世話になりました。お陰様で楽しい一日でした。ありがとうございました。また、今日は誕生祝をありがとうございました。

常磐重雄君
納涼親睦例会では途中からの合流で失礼しました。会田委員長の電話がつながらず合流できないかと思いましたが、何とか合流できました。会田さん黒柳さんお世話になりました。

和田正幸君
今日はお祝いをしていただき有難うございます。あと何年かわかりませんがおつきあいをよろしくお願いします。

黒柳淳子様（告芳幹事夫人）
結婚34年目で楽しく美味しいお食事を・・・ありがとうございました。

嶋田健一君
妻の誕生祝いありがとうございます。忘れておりました。

門田高明君
アサヒビール2010年ボージョレ・ヌーヴォの申込みは来週9月7日（火）が締め切りです。よろしくお願い致します。

前田賢一君
親睦委員長会田さん先週は第一関門の納涼例会大変にご苦労様でした。お陰で、家族で楽しい夏休みの想い出ができました。子供たちにとって貴重な経験でした。スカイツリー・落語・すきやき…。夏休みの間に長男に背の丈をいつの間にか抜かれてました。

卓話「会員増強及び拡大月間」

担当：和田正幸君

講師：秋森三男氏
RI第2780地区会員増強・会員維持副委員長
（相模原西RC）

柳田会長は本年度方針の中で現在の状況を話されています。

時代の変化の中でロータリーも少しずつ変化してきておりますが、世界中の人々の善意をつないで協力と支援を得ることの出来るロータリーという素晴らしい団体の一員として、私たち厚木ロータリーも世代交代や会員減少も進む中、50年を機に初心に帰り、ロータリーの精神を尊重し、日々の仕事や生活を通してロータリーの歯車をしっかり回してロータリーの精神を広めていかなければならないとおっしゃっています。（ポールハリスは「この世の中は常に変化していて、我々はその変化に何時も準備しなければならない」といっています。）

◇第 2780 地区の現状は 6 月末現在、会員数 2306 名。退会者 172 名（女性会員 10 名）、入会者 151 名で純増マイナス 21 名の結果になりました。年度初めの 7 月 1 日 2,257 名純増マイナスが、結果的には 2009 年 7 月 1 日～ 2010 年 7 月 1 日迄の一年間で純増マイナス 70 名になっています。このように会員減少は世界的な傾向です。減少はロータリー活動に影響が出てきています。第 6 グループでは今年度 4 名でスタートするクラブもあります。

◇第 2780 地区の目標は、後藤年度 5%、森年度 5%、菅原年度 5% で合わせて 15%、3 年後には RI 提唱の地区最適会員数 2700 名に達成出来るよう目標を掲げております。

◇会員増強・会員維持について（会員増強・会員維持委員会）

日本ロータリーの会員数は 1998 年 6 月末～ 2010 年 6 月末迄の 13 年間を連続して減少しています。その傾向は今後も続きそうで、好転の気配は見えません。(9 万人を割る)

ロータリー関連の増強の資料や、各地区におけるあらゆる会合やセミナーでも改善策・解決策が熱心に検討されていますが、「これで大丈夫」と言える決定的な解決策は未だ見出されておりません。佐野英之委員長は会員増強の三要素に①新クラブの結成②新しい会員の獲得③既存会員の維持を挙げています。

◇新しいクラブの結成は年々減少しており、新クラブにエネルギーを出すよりは、今現在のクラブ会員を消滅させないよう努力したほうが良いと考えています。

地区内で、20 名以下のクラブは要注意しなければなりません。それには、スポンサークラブやガバナー補佐、パストガバナー等のご協力を得て小規模クラブの活性化を図り、愛情ある温かく力強い支援が必要です。安易に消滅や合併をさせないようにすべきです。

◇新しい会員獲得について

あらゆる組織は自然に任せておくと高齢・病気・死亡・転勤・人間関係の軋轢などで減少します。また、どんな組織でも会員減少は死活問題で、会員が多くなれば互いに触れあう摩擦熱で組織は活力や魅力を増してきます。その発する熱により新たな人を呼び込みます。会員を増やす事は組織の体力を強化し財政基盤を確立、充実した奉仕活動も可能になります。良質な市民をより多く、組織を何時もいきいきさせておく為には、常に新しい人材が必要です。ロータリーの最大の財産は「会員」であることは言うまでもありません。

「優秀な人材」という財産なくしてロータリーの崇高な理想の実現はありえません。

ロータリーの会員を増強する事は、ロータリーの未来を託す人材を得る事にあります。そして私達は、次の時代への責任を果たす事にもなります。会員増強は「ロータリアン最大の奉仕」です。

会員資格は・・・既に完成された人物ではなくて、会員として活動する中から素晴らしい職業人になってもらう。

入会促進の具体策の一番は、クラブ会長・増強委員長の強い意欲と熱意そして高い目標が必要です。職業分類表を再度見直し、情報集会グループごとの推薦会員全員は、候補者名簿を共有して全員で取り組むのが大事であり、一概には言えませんが資格基準・会費等は、もう少しゆるやかにすることが必要かと思います。

会員減少の理由は、不透明な経済環境と中小企業経営者の高齢化、後継者不足、企業の減少、その他に増強・拡大を急ぎすぎ、情報教育が疎かになってきたと思います。そのためロータリーを知らない会員が多くなり、会員一人一人の関心・愛情・熱意が薄れ、自らの組織に自信と誇りを失いかけているように思います。

ロータリーの魅力にも陰り「理念の無い組織は衰退する」といわれます。ロータリーは理念は有りますが会員に正しく伝えられていません。理念や本質が理解されていないために会員会の規範が薄れ、会員の事業所の不祥事も目立ち、社会の信頼すら損なわれ始めています。又、例会以外でのバッチ未着用会員も多く、ロータリアンの誇り・愛着も薄れつつあります。

既存会員の維持、退会の理由は色々あるとおもいますが、一つには紹介者･情報委員･先輩会員のフォロー不足が挙げられます。3 年未満の退会者は、ロー

タリーの良さを体得しないまま、悪い印象のまま退会してしまいます。

一旦入会した会員は絶対退会させない気構えを持つべきです。

(ロータリーは奉仕の理想を追い求めている団体)

理想とする会員増強は、ロータリアンは人間的にも職業人としても素晴らしく有らねばならないといっています。

ロータリーの会員企業であれば、日頃4つのテストやロータリーの網領に照らし合わせて行動しているので、信頼・安心ができます。「あんな人になりたい」、「あんな人の組織に入りたい」と地域の人々から言わしめるように、薄れつつあるかつての栄光を復興したいものです。

会員増強は一朝一夕には達成できません。増強のスーパーマンは存在しません。しかし、会員増強なくしてロータリーの未来は語れません。ポールハリスの提唱した精神は、新しい会員が誕生し、彼等が先輩ロータリアンから多くの事を学び、円熟度を増してこそ達成され、受け継がれていくのではないでしょうか。クラブ再生を皆様の力で、13年間連続の会員減少に終止符を打つ布石を投じ、是非、今年度は会員一人一人の増強で、全てのクラブが純増に転じるきっかけになる年度にして頂きたいと思います。

真の会員増強は、クラブ全員で熱意を込めて新たな会員を獲得し、しっかりとしたロータリー情報を提供して、会員に魂を入れることにあると思います。

厚木RCの今年度クラブ純増目標は2名とのことですので、達成されることをお願いし、増強の卓話とさせていただきます。

ありがとうございました。

ロータリー家族委員会の歴史

家族委員会がロータリーの特別月間に入ったのは2004年からです。それから毎年12月が『家族月間』となっております。

まず、家族月間には「家族週間」という名の前身に始まり、1995～1995年度RI会長のハーバート・ブラウン氏は「世界平和は、地域・家族から始まる」という考えを表明し、この考えをRI理事会が受け入れました。

我々の社会のいしずえとして、普遍的な家族の重要性に対する組織全体の認識を徹底するための、RI強調事項として「家族及び社会へのロータリーの献身」を合わせて指定しました。つまりこの時にロータリアンの心の中に『家族』という種をまかれたのであります。

そして2003～2004年度会長ジョナサン・マジアベ会長（ナイジェリア）はテーマ「手を貸そう」の中で、会員達の福祉に関心を示し「病気やその他の問題で悩んでいる会員に援助の手を差し伸べ、元気づけてやって下さい。亡くなった会員の配偶者には絶えず親身になって接し、ロータリー家族の一員としてとどまってくれるようにして下さい」そして、ロータリーの事業を推進し成果を上げようとするなら私達の組織を強化し会員増強を推し進めなければなりません。また新しい会員を引き入れても私達が何もせず、彼等を活動的にし有意義なプロジェクトに巻き込むを怠っては意味がありません。私達は彼等をクラブに馴染ませ、彼等が親密で頼りになるロータリー家族の一員であると感ずるようにすべきです。と言っております。

講師：三宅壯平君

そしてその意志を引き継ぎ、次年度2004～2005年度のグレンE・エステス会長（その年はロータリー100周年時）は「国際親善奨学生・ローターアクト・インターアクト・青少年交換学生・GSEチームメンバー・その他私達の人道的活動によって生活が改善された何千もの人々など、皆様がこの祝賀の心をロータリー家族会員とロータリーによって感動を与えられた全ての人々と分かち合えるよう望みます。」として「クラブ全員に思いやりと気配りの精神を奨励して、会員の退会防止活動を支援するロータリー家族委員会を継続し、熱意あふれた新会員を入会させて、前途に横たわる挑戦事項を克服するためのエネルギーをクラブに吹き込みましょう。」と結んでおります。

さらに2006～2007年度ウイリアムB・ボイド

会長は、次のように述べます。「私達は今年度再びロータリー家族を取り上げ、ロータリー家族の全ての人々に等しく思いやりの心を持つことを強調したいと思います。ロータリーの将来を健全に保つためには青少年交換・インターアクト・ローターアクトといった青少年プログラムが不可欠です。これらのプログラムは次世代に誠実さ・寛容・無我の精神をはぐくみ、ロータリー活動を助長するものであります。」と言いロータリーの組織活動に関わりを持った人は、一人残らずこの輪の中に包み込みロータリー家族として接するようにとの指針を示しました。

つまり　ロータリーのファミリー（家族）委員会ではなく　ロータリーファミリー（家族）の委員会なのです。

ロータリー活動に関わった人々全てがロータリー家族であるということです。

ロータリー家族委員会に対する歴代ＲＩ会長の歴史（まとめ）

① 1995 ～ 1996 年度　　ハーバート・プラウン RI 会長
『家族週間』

② 2003 ～ 2004 年度　　ジョナサン・マジアベ RI 会長
『家族月間』

③ 2004 ～ 2005 年度　　グレン E・エステス RI 会長

④ 2006 ～ 2007 年度　　ウイリアム B・ボイド RI 会長

出席報告　〈会員 41 名、出席対象 35 名〉

8 月 17 日例会　　確定出席率 89.47%	8 月 31 日例会　　出席 29 名　欠席 6 名　出席率 82.86%
＜事後メイクアップ＞ 西嶌洋一君（8/20 厚木県央 RC）	＜欠席者＞ 福住桂司君・黒柳智太郎君・高橋秀典君・前迫静美君・ 米山尚登君・西迫一郎君